

## 2023年度

### 二チイキッズ羽屋保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月9日（火）～1月26日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月28日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、出来ることや、興味関心の差が大きい子どもたちに対して、一人ひとりに寄り添える言葉がけや、職員同士情報共有・連携を重ねる重要性を再度確認しあい、活動を行うようにした。
子どもの発達援助	一人ひとりの子どもに沿った活動の計画を立て、子ども一人ひとりが思いっきり遊べるよう環境の工夫を行ってきた。今後も一人ひとりに寄り添い、想いが出せる保育をしていきたい。
保護者に対する支援	保護者参加の行事や送迎を通して、子どもの姿やそれによって成長した点、今後の課題などを話し、保育園と家庭とが連携できるよう意識して取り組んできた。今後も双方の悩みや困りについて話しやすい雰囲気づくりをしていきたい。
保育を支える組織的基盤	外部研修や園内研修の充実や15分ミーティングを実施し、職員一人ひとりのスキルアップ向上を図った。学んだことを次年度の保育に活かし、更なる保育の質の向上を目指したい。

総評
<p>園の保育理念や保育方針を理解したうえで、保育計画を立て実践してきた。その中で、今年度課題となっていた、興味関心の違う、出来ることの差が大きい子どもに対するの援助について、職員間で情報共有をこまめに行いながら、寄り添える保育になるよう心掛けた。次年度も、職員間で対話・連携を重ねながら、子どもの最善の利益が優先されるような保育に努めていきたい。</p> <p>保護者支援については個人面談や送迎、行事などを通して子どもの困りにも耳を傾け、寄り添うことの大切さを感じることができた。来年度も保護者に寄り添いコミュニケーションを密に行いながら、信頼関係を深めていきたい。</p>